



報知ボーイズリーグ

第56回

春季全国大会支部予選

八幡南2大会続けて準V

八幡南は決勝で惜敗して2年連続出場を逃したものの、直前の長崎県記念大会から2大会続けての準優勝と存在感を示した。

7番の浅野颯太は準決勝で三塁打2本を放ち、決勝では2回に先制打、6回に同点三塁打と打撃好調だった。「チームの練習後も家



決勝で好投した祐成(右。左は西二町)

決勝の6回、同点打を放った八幡南・浅野



で一球一球、対戦する投手を意識しながら素振りした」と努力をみせつけた。投手陣では、決勝の2番手で3イニングを無失点だった祐成蒼士らの好投が光った。

山本裕史監督は「投手はよく投げた。チャンスで一本が出なかったことに差があった」と敗因を語った。打撃を鍛え直し、まずは新チームで初優勝を目指す。

1回戦

八幡南	2	0	0	3	0	0	0
北九州中央	0	0	2	0	1	0	0
【八】福沢、祐成、市丸、横山【北】							
野上、後藤、瀬尾、福沢(八)							
高良、浅野(八)							
							3 5

2回戦

山口下関	0	0	0	0	2	0
八幡南	0	2	1	3	0	3X
【山】田原、岩木、児玉【八】高良、祐成、横山、浅野、横山、市丸、今永(八)、市丸(八)						
八幡南中央	0	2	0	3	1	1
戸畑	0	0	0	1	2	3
【八】大川、緒方、一保、木本、松元【戸】池田、富士岡、西川、富士岡、山本龍、和田(八)、田淵(戸)、田淵、柳井(戸)						
						6 7

兄弟対決に挑む 八幡南中央

1年生チームの八幡南中央は準決勝で、同一組織の



上級生で構成されている八幡南との「兄弟対決」に挑み、中盤まで互角に戦った。2回途中から登板した緒方竜馬「写真は、前週の2回戦は制球が定まらなかったが、練習で意識して修正し、カーブが決まった」と4回までの3イニングを1失点(自責0)と好投。「先輩たちを抑えられて自信になる」と胸を張った。

準決勝

八幡南	0	2	0	0	0	5
八幡南中央	0	0	0	0	0	0
【南】福沢、藤井、横山【中】木本、緒方、宮島、上田、中村、松元【西二町(南)】日高、浅野2(南)日高、高良(南)						
						0 7

決勝

八幡南	0	2	0	0	0	1
小倉	0	3	0	0	0	0
【八】高良、祐成、市丸、横山【小】家村、塚本、沖原、浅野(八)高山、内尾(小)、向(小)						
						0 2
						3X 6 5